

授業科目 オセアニア文化研究特論	単位 2 単位
授業担当者 印東 道子	授業期間 後期
授業の題目と概要 「オセアニアにおける土器文化の諸相」 オセアニアにおける土器文化の諸相を自然環境との関連においてみてゆく。具体的には、参加者ととも文献資料を用いて、民族誌、考古、地質鑑定に関する資料を渉猟してデータベースを作成し、土器変化の背景を解釈する。	
授業の内容と計画 1 : 土器文化研究について 2～3 : オセアニアの地域環境の多様性 4～5 : オセアニアの土器作りを巡る社会背景 6～9 : オセアニアの土器文化・データベース作成 (ミクロネシア) 10～13 : オセアニアの土器文化研究・データベース作成 (メラネシア) 14～15 : オセアニアの土器文化の地域的特性の検討	
使用する参考書、参考論文等 Butler, B.M.(1990) Pots as tools: the Marianas case. <i>Micronesica (Supplement)</i> , 2: 33-45. Dickinson, W.R. (1998) Petrographic temper provinces of prehistoric pottery in Oceania. <i>Records of the Australian Museum</i> , 50: Irwin, G. (1985) <i>The Emergence of Mailu: As a Central Place in Coastal Papuan Prehistory</i> . Terra Australis 10, Canberra: The Australian National University. May, P. and M. Tuckson (1982) <i>The Traditional Pottery of Papua New Guinea</i> . Sydney: Bay Books. Moine, G.L.(1987) The loss of pottery in Polynesia. <i>New Zealand Journal of Archaeology</i> , 9: 25-32. 他、民族誌資料多数	
成績評価基準 平常評価	
その他の留意事項 受講生には土器文化の一般的知識を有することを条件とする	